

京都府防災会議「地域防災の見直し部会」 (京都府防災会議専門部会) 開催結果概要について

- 1 開催日時
平成29年5月16日(火) 10時00分～11時40分
- 2 場所
京都府職員福利厚生センター3階第1～3会議室
- 3 出席委員
牧部会長、澤田委員、三島委員、小野委員
- 4 議事等の概要
事務局から説明を聴取し、委員間で議論を行った。概要は次のとおり。

○ 協議事項

(1) 関連事項報告

① 熊本地震を踏まえた車中泊避難対応検討会取りまとめについて(資料1)

<委員からの主な意見>

- ・車中泊避難対応に関する今回の取りまとめを参考として、市町村において作成する避難所運営マニュアルに、車中泊のほかテント泊が発生した場合や、避難が長期化した場合、大規模な火災の場合の対応も含めて総合的に検討して、内容の充実を図る必要がある。

② 津波災害警戒区域の指定について(資料2)

③ 日本海における最大クラスの地震・津波による被害想定について(資料3)

<委員からの主な意見>

- ・津波災害警戒区域の指定は、全都道府県の中でも5番目に行われ、先進的な取組と言えるだろう。被害想定は最悪のシナリオを想定し備えるために行うものであり、市町村や府民へ今回の被害想定を啓発を行い、災害対策の推進に活用して欲しい。

④ 第二次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの修正について(資料4-1、4-2)

⑤ 女性等多様な視点での防災対策の取組について(資料5)

⑥ 京都BCP行動指針の修正について(資料6-1、6-2)

<委員からの主な意見>

- ・京都BCPの特色の1つとして、災害時に、京都BCP関連団体が、府災害対策本部に情報を取りに来るといった申し合わせがあるが、重要な取組である。
- ・熊本地震においては、復旧の視点が国と地域とで異なった。国は、被害を受けた企業が別の場所で事業を再開しても問題ないかもしれないが、県や地域としては困る。地域の災害対策・復旧においては、地域の視点を踏まえた京都BCPの取組は有効である。

※ 関連報告事項について、各委員了承

(2) 協議

① 京都府地域防災計画の修正について(資料7)

② 京都府津波避難計画策定指針について(資料8-1、8-2)

<委員からの主な意見>

- ・要配慮者等の避難においては、車両を使う必要もあると思われることから、避難経路など地域の実情を踏まえて津波避難計画を策定することが重要だろう。

※ 協議事項について、各委員了承

○ 報告事項

- (1) 災害からの安全な京都づくり条例について(資料9)
- (2) 今年度の水害対応について(資料10)
- (3) 平成28年度原子力防災訓練について(資料11)
- (4) 京都府国土強靱化地域計画について(資料12-1、12-2)

※ 報告事項について、各委員了承